

四月に入り、やっと本格的な春を迎えました。中東地域をゆるがした湾岸戦争もようやく終結し、平成二年度もあつと言う間に過ぎ去りました。

桜の開花も間もないという先日、幼稚園を始め、小学校、中学校の入学式が行われましたが、父兄に連れられ黄色い帽子にランドセル姿、ピカピカの一年生、頑張つてほしいな。

入学を待つ我が子

不安もチョッピリ

下市 永井恵子



四月から我が家の息子「大輔」は、いよいよ一年生です。本人はとても嬉しそうで、指折り数えて入学式を待っています。でも私はちよつと心配です。一つはひらがなの読み書きがなかなか思うように出来ない事です。長女の時は読み書きが出来たので、よそのお母さんが今の私と同じ様な心配をされた時、「大丈夫、自分の名前さえ書ければいいのよ」と言っていました。

本当に大丈夫だと分かっているでも自分の子だとも勝手が違うような。

もう一つは一年生から複式授業だという事です。複式授業の様子を参観日一度だけ見ましたがこれで授業になるのだろうかと考えさせられました。複式の良い所もあるのですが、字もろくに書けない一年生の時から可哀相な気がします。

いろいろ心配な事はありますが子供が頑張つてやってくれると思うので、また一歩成長し、新しい世界に入る入学式を心から祝福してやりたいと思います。

「永井大輔君」小学校入学おめでとう。友達を大切に、勉強に運動に頑張つてね。」

新たな気持ちで

初心にかえって

四日市 谷口陽子



今年の春は我が家にとって一度に二人の子供の入学を迎える喜びと期待と不安のまじった春になりました。

四月から長男法司は中学生になります。本格的に勉強に取り組まなければ

いけない時期に入るわけです。又、部活も頑張らなければいけません。

生徒数も限られていますし、団体で出来る運動に取り組めない。自分の好きな運動を選ぶ事も出来ない。試練と言えばそうかもしれませんが少し可哀相な気がします。

のんびり屋の彼がどこまで「やるき」という木を出して実を実らせてくれるか少しだけ期待し、見守って行きたいと思います。

同じ様に三男将人も待ちに待った小学校入学です。

二才の時から喘息という事で、病院に通い続けている彼にとって小学校に上がる事は健康の上でひとつの目安でした。将人に体の弱い子とレッテルは貼りたくありませんが、実際今までに貼ってしまったようです。小学校に入学し、皆と同じ様に元気に勉強し遊んでくれ、自分の力でレッテルを剥がしてくれればと願っています。

最後に私自身も子供達と同じ様に、新たな気持ちで初心に戻り、子育てに励みたいと思います。

四月の入学式には新しい制服に身を

包んだ二人の子供達の門出を、家族全員で祝ってやりたいと思います。



年を取るにしたがって

大代公民館

高齢化社会はすでに現実のものとなつていきます。豊かでゆとりある長寿社会を築くうえで、老人ひとりひとりの心構えと申しますか、長生きしていく心のよりどころとして、先人達の教えが大切になってまいります。

今月は、福沢諭吉先生の「老人心訓」をご紹介します。

一、老人で、いちばん幸せなことは、事柄の本質が見極められるようになることである。

二、老人で、いちばん嬉しいことは、まだ社会に役立つことができることである。

三、老人で、いちばん美しいことは、若い者のために陰の力となってやることである。

四、老人で、いちばん楽しいことは、年齢のことなど忘れて好きなことに没頭することである。

五、老人で、いちばん尊いことは、死

を忘れないことである。

次に、「ほけたらあかん

長生きしなはれ」

一、年を取ったら出しゃばらず、憎まれ口には、泣きごとに、人のかげ口、愚痴いわず、他人のことはほめなはれ。聞かれりや教えてあげても、知ってることでも知らんふり、いつでもアホでいるこつちゃ。

二、勝つたらあかん、負けなはれ。いざれお世話になる身なら、若いもんには花持たせ、一歩さがつて譲るのが、円満にいくコツですわ。いつも感謝を忘れずに、どんな時でもへえおおきに

三、お金の欲を捨てなはれ。なんぼゼニカネあつたとて、死んだら持つていけまへん。「ああ、あの人はええ人やつたなあ」と、そないに人から言われるよう、生きてるうちにバラまいて、山ほど徳を積みなはれ。

(次回につづく)

高令化が進む地域の中で

大代婦人のアンケート調査

婦人会長 後藤マサエ

「今一番嬉しいことはどんな事」

(1) 近所の人から話しかけてもらった。

(2) 子供から電話があつたとき。

(3) 健康である。

(4) 食バものをいただいた。

(5) 着る物身につける物をもらつた。

(6) その他

以上のような結果でした。(1)(2)(3)番が一番多く心のゆさぶりのあつたことが半数以上、(4)(5)(6)番のような実用型が半分以下、このアンケートは中年婦人を対象としたものです。

大田市で高齢化する割合は大森が最も高で31%粗式が27%大代は25%3番目の地域です。こうした大代の中で、私達はぬくもりのある言葉を互いにかけあつて励まし合いたいと思います。今すぐから実行しましょう。ひとりひとりの心がけで、住みよい町にしましょう。

平成三年度

役員改選

新しい年度に入り、人事異動や役員改選など次の様に決まりました。

◆ 学校関係(異動)



小学校 山本典男 大東佐世小学校

へ転出

中学校 平野寿美子 大和中学校へ

新任、転出

藤井達見 大田一中より

岩谷久子 鳥井小学校より

夫々転入

◆ 自治会関係

自治会の内(任期終了)3自治会の改選がありました。他は留任

四日市 竹本 謙

川上 鈿 政美

弓久 高村利乗

◆ 婦人会関係(本部役員)

会長 後藤マサエ (留任)

副同 田辺幸子 (新)

副同 笹木フジエ (リ)

◆ 農協関係 (四月一日より)

販売 泉 朋記 久利支所へ

谷本康治 水上支所より

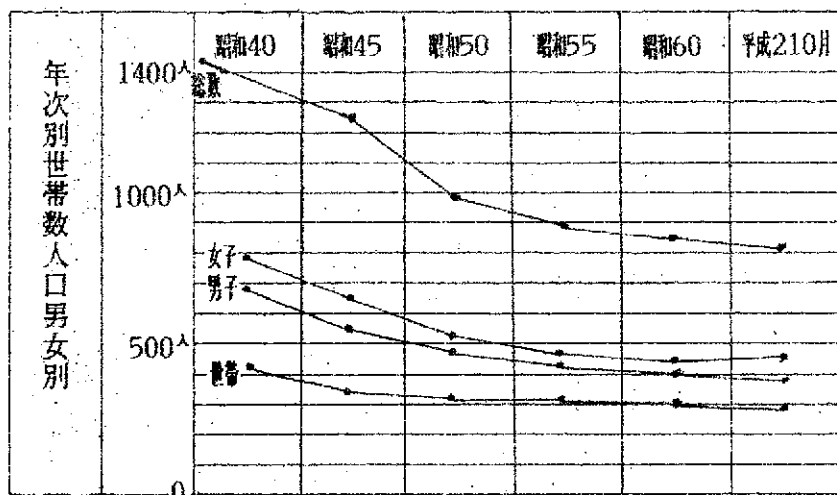


平成二年度(一九九〇年)

国勢調査 集計結果

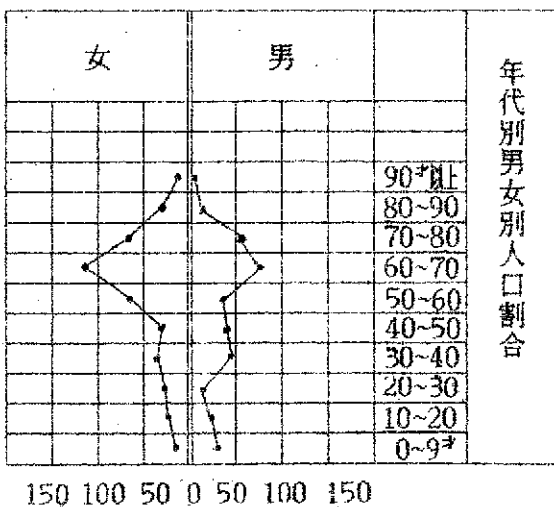
昭和40年から平成2年10月迄の統計結果によれば、当時400戸有った世帯が

現在300戸を割り、人口も之に沿って1438人が800人を割る大きな減少を示し大田市全般でも各町人口は減少しています。これを大きく区分すると20才以下122人、20代128人、40代179人、60代313人、80代以上51人となっています。



これらの人口を総括して言えるのは現在男女併せて793人の内364人(46%)が60才以上の高齢者となっています。

年代別男女別人口割合



★図形は大空に舞う風か!

◎おしらせ

◆ 社協大代支部から

上飯谷 津村千里様より

下市 渡 剛 様より

弓久 岡田修二様より

四日市 石田義隆様より

香典返しに替えて夫々金一封の御厚志を頂きました。

厚く御礼申し上げます。